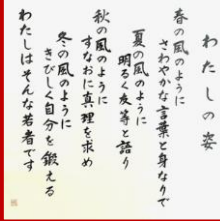


令和8年度 東白石中学校パートナー校区（大谷地小・東白石小・本郷小）小中一貫した教育グランドデザイン

「小中一貫した教育」で
目指す **15歳**の姿

- 学校目標「すすんで、よりよい社会をつくる人になる」
- 子どもの合言葉「わたしの姿」

※開校3年目（昭和43年）、当時の東白石中全校生徒から募集して作られ、先輩から後輩へと今も受け継いでいる生活信条（目標）を表した詩です。



【保護者や地域の願い】 ※並び順は上位から
～小中保護者アンケートより

- ・自分のよさや可能性を感じて大切にできる子
- ・うまくいなくても気持ちを切り替えて前向きに取り組める子
- ・他者のよいところを認めて大切にできる子
- ・目標に向かって計画を立てたり振り返って調整しながら行動する子
- ・他者と思いや意見を交流しながら、よりよい方法を見出せる子
- ・自分や他者の困りや悩みに気付くことができる子
- ・他の人に相談したり援助を求めることができる子

【知・徳・体の調和のとれた育ち～令和8年度の重点】

【知】 学ぶ力

多様なつながりを大切にして
学びに向かう力を高める

- ・各校教育課程の可視化（生活・総合を中心として）
- ・体験と知識との結び付きによる確かな学び

【徳】 豊かな心

相手の立場や気持ちを考えて
思いやりを行動に表す

- ・あいさつに関わる取組の連携
- ・落ち着いた学校生活を創る取組の実施
- ・情報モラルの向上・情報セキュリティの理解

【体】 健やかな体

自分事として心身の健康の増進に積極的に取り組む

- ・各校の体力向上への相互理解
- ・9年間を見通した教育課程
- ・健やかな体の育成プログラムの共通理解

【小中一貫した教育を実現するための具体的な取組】

学校 学校の取組 学校間連携	○中学校施設体験学習（年2回） ・中の教務＋生徒指導から話 ・中教諭による授業と学校紹介ビデオ ・中1授業への参加 ○小中授業参観（札教研「春の研究集会」） ○全国学調結果の交流（9月） ○学ぶ力育成プログラムの交流 ○生活・総合のカリキュラムの交流	○生徒会と児童会の交流 ～小学校と中学校のつながりを大事に～ ・さっぽろっ子サミット ・各学校の「あいさつ運動」 ○地域連携による「あいさつ運動」（4,9,1月） ○安心・安全な生活 ～情報モラル、セキュリティの理解～ ○メリハリのある生活	○中学校施設体験学習 ・保健体育の授業交流 ○生活習慣の改善 ・スマホ等の情報モラル・健康リスク指導 ○養護教諭・栄養教諭の情報交流 ○生命の安全教育道徳講演会（中3・小中保護者） ○健やかな体育成プログラム交流（7月） ○全国体力運動能力調査結果交流（2月）
子ども 子どもの取組 子ども間連携	「子どもの声を聴く」を大切に 生徒会・児童会等による自治的な活動(案) ○中学生授業見学・体験（年2回） ○6組小中交流会・合同活動会	○生徒会、児童会の共通した取組・発信：あいさつ運動の交流 ○校内や地域のボランティア活動・・・ゴミ拾い、花壇整備など ○「プラスのまほう」実現を目指す活動：異学年交流など	プラスのまほう ○体力づくり：縄跳び、〇〇運動ウィーク ○部活動の紹介と参加
家庭 とつながる	○家庭生活における習慣づくり（まほうのかいわ） ・家庭学習、読書の習慣	○情報モラル・マナー向上 ○ICT機器使用のルールづくり ○あいさつ運動支援 ○交通安全支援（登下校見守り） ○対話のススメ	○規則正しい生活習慣（まほうのかいわ） ○健康リスク情報発信 ○運動・睡眠・食事の意識向上 ○セルフマネジメントの向上
地域 とつながる	○生活科・総合的な学習の時間における地域人材・資源を活用した体験活動の充実 ・職場体験事業所紹介（中2でっち奉公） ・地域学習連携（中1）	○子ども未来応援団とのつながり ・人材紹介 ・ボランティア支援 ・あいさつ運動支援 ○登下校見守り	○子ども未来応援団とのつながり ・人材紹介（部活動も含む） ・ボランティア支援 ○登下校見守り

【現状と課題】（学校運営協議会・学校評価・学校評価アンケート等から）

【知】 学ぶ力の課題

- ◆決まった課題に真面目に取り組むが、確かな知識へと定着していないことがある。
- ◆基礎的な学習内容が確実に身に付いていないために、思考力・判断力・表現力が発揮できないことがある。
- ◆家庭学習を含め、学習習慣の確立が課題である。
- ◆地域における体験活動の充実、地域の教育資源の活用が課題である。

【徳】 豊かな心

- ◆素直な子が多い。思いやりの気持ちをもち、友達の頑張り温かい言葉掛けをする姿が見られる。
- ◆学校の約束を守り、落ち着いて学校生活を送る姿が多くみられる。
- ◆子どもがあいさつを行うよさを実感し、日常的にあいさつを交わすための支援を行う。
- ◆場に応じた気持ちの切り替えやメリハリのある行動の定着のための取組の必要性がある。
- ◆SNS等の使用に関わるトラブル防止に向けた取組の必要性がある。

【体】 健やかな体

- ◆新体力テスト等統計上の課題はあるが、体を動かすことの好きな子どもが多い。
- ◆体力向上に対する意識は二極化の傾向が強まっている。
- ◆家庭での生活を含め、生活習慣の確立が課題である。

学校運営協議会

コミュニティ・スクール



学校運営方針の承認
子ども像や理念を共有
設定したテーマを協議
学校評議員会を兼ねて
「小中一貫した教育」を踏まえ学校評価

連携

学校運営協議会で熟議された必要な取組のうち、「地域」とつながる活動

挨拶運動

「東白石中学校パートナー校区
子ども未来応援団」

標語

地域の子どもの「～したい」を支える応援団となって子どもの学び・成長を支える
4校PTA会長・4校教頭・連合町内会・青少年健全育成委員・自治会長
主任児童委員・民生委員会・保護司・少年育成指導員・幼稚園長
保育園長・まちづくりセンター所長・PTA担当教員・4校校長 等

■小中一貫を推進する組織■

組織・会議	時期・主な担当（例）
小中一貫教育推進活動日	毎月第3木曜日 ※この日は各校で放課後に会議を入れない
分科会	全員参加。4月、11月の2回
実務担当者会	各校実務担当者
各プロジェクト（知・徳・体）	各プロジェクト校内リーダーが具体的活動の企画・推進
中学校訪問・施設体験学習	東白石中が主体となって企画。4月、3学期の2回
特支交流会	特別支援担当教諭が主体、窓口中学校
札教研パートナー部会	各校の校長、教頭、校内研究推進委員、教職員
校長交流会	毎月開催